

あかるさかおるの スケッチブック

— 男女共同参画推進コラム — No.7

山形県男女共同参画推進員を務める「あかるさかおる」※
さんによる連載コラムです。 ※アーティストネーム

“ちゃんとしてオバケ”に捕まったら”

子育てをしていると「ちゃんとしなさい!」と毎日何度も口にしていて、ヒヤッとします。ちゃんと食べて!ちゃんと歯を磨いて!ちゃんと宿題をして!などなど。全国で子どもたちは、家でも学校でも“ちゃんとしてオバケ”に追いかけて回されていることでしょう。

大人になっても相変わらず、男なんだから、母親なんだから、もういい歳なんだから…。ありとあらゆるところに、ちゃんとしてオバケが潜んでいます。それは家族や同僚かもしれないし、近所の方かもしれないし、レストランでたまたま隣に座った人かもしれないし、はたまた自分自身の心の中にも…。油断した途端に出てきて、「ちゃんとしなさい!」と勝手に叱咤激励してくるのです。

そもそも「ちゃんと」って何でしょう?定義が曖昧です。辞書にはこうありました。

1 少しも乱れがなく、よく整っているさま。

2 確実に間違いのないさま。

つまり、「乱れているから整えよう」「間違えているから正しい道に戻そう」と使う言葉です。でも誰から見て乱れていて、誰から見て正しいのでしょうか。世間の常識?誰かの価値観?それは本当に、私にとっても正しいの?

何が正解かも、人それぞれ。それに「正しさ=幸せ」とも限りません。ちゃんとしてオバケに捕まったら、深呼吸して、こう呟いてみましょう。「これも、ありかも。」ほら、オバケなんて消えちゃいましたよ。

【このコラムを書いている人 】



すがわら きゃか
菅原 明香(あかるさかおる)

アライアンス
ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

